

# 熊本地域医療センターだより

通算188号  
1月号

院長 杉田裕樹

令和3年(2021年)1月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

2021

1

## 熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。  
紹介してよかった。  
働いてよかった。  
そんな病院をめざします。

## contents

「年頭の辞」	P1～2
日本癌治療学会認定CRC取得しました	P2
熊本地域医療センター勉強会 オンライン配信始めました	P3
コロナ禍の臨床工学部	P3
コロナ禍での受付	P4
コロナ禍の地域医療連携室	P4

## 年頭の辞



院長 すぎた ひろき  
杉田 裕樹

2021年になりました。今年はどういった年になるのでしょうか。昨年、年頭の辞で「今年は東京オリンピックが開催されます」と申し上げましたが、今年に延期となりました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行(パンデミック)により予定というものが立たない状況へと世の中が一変してしまいました。昨年はCOVID-19のため社会や生活スタイルが大きく変化し、経済が大打撃を受け、医療においてはCOVID-19対策・治療に明け暮れ、多くの医療機関では減収に悩んでいる状態でした。しばらくこの状態は変わらないのではないかとの見方が有力です。この原稿を書いている2020年12月上旬の時点でイギリスにおいてアメリカとドイツで開発されたワクチン(ファイザー社とビオンテック社共同開発)の接種がそろそろ始まるとの情報が入りました。このワクチンは日本政府も入手する契約を交わしており、早ければ今春にも日本での接種が開始出来るということです。遺伝子ワクチンと呼ばれmRNAをワクチンとして接種し体内でタンパク質として合成されるもので、これまで誰も使用経験のなかったものです。有効性については治験でかなりの効果が期待できることが証明されていますが、副作用については、未知の部分があるようです。しかしここは現代科学・

人類の英知を信じて期待したいと思います。

昨年は地域医療センターにとっても大変な年でした。4月から5月にかけて計4人の職員が新型コロナウイルスに感染いたしました。1人目の職員は休日夜間急患センターを受診した患者からの感染ですが、他の3人はそこから院内で拡大したものと考えられました。当院では感染対策を見直し、さらに徹底し、患者さんには一人も感染せずに何とか収束にいたりしました。しかしながら一ヶ月間余りの診療制限を余儀なくされ、患者さんや医師会員の先生方等には大変ご心配・ご迷惑をおかけいたしました。また、職員は風評被害を受け、大変つらい思いをいたしました。6月からは通常診療となりましたが、すぐには入院および外来患者数が戻らず、4、5、6月の病院収益は激減し経営としても大打撃となりました。しかし7月以降、新規紹介患者数はほぼ例年並まで回復し、病院収益も例年並みに近づいています。ご紹介頂く医師会員の先生方には深謝を申し上げます。一方休日夜間急患センターは、4、5月診療制限をしておりましたが、6月から通常通りの再開となりました。ところが患者数が例年の半数以下に激減するとともに、出勤協力医の確保が困難となってしまいました。そのため、医師会および熊本市が協議の上2020年10月から内科と外科の深夜帯のみしばらく休止することとなりました。なお、小児科はこれまで同様の診療体制を継続しております。昨年は

地域医療センターにとって激動の年であったと思います。

さて、今年も冒頭で申しました様にいろいろな面で予測不能であります。しかしその中で当院としてやらなくてはならない事は、COVID-19対策を行いながらの診療体制の維持であり、それによって地域

医療に貢献して参りたいと思います。病院の理念である「かかってよかった、紹介してよかった、働いてよかった、そんな病院」をめざし、「なくてはならない、そして皆様に頼って頂ける病院」であり続けたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 日本癌治療学会認定CRC取得しました

臨床研究コーディネーター（CRC） いせち かずみ 伊瀬知 一美



この度、日本癌治療学会認定CRCを取得いたしましたことをご報告いたします。今回の認定取得に至るまでの間、ご指導いただきました各科の先生方に深く感謝申し上げます。

CRCは、薬や治療法の知識の習得はもちろん、患者さんやご家族の対応、研究責任医師・分担医師の診療サポート、高精度のデータ管理、モニタリングや監査対応、他部署との連携業務など多岐に渡ります。

癌治療は、ここ10～20年の間に、薬や放射線療法が大きく前進し、中でも肺癌領域においては、この数年でたくさんの治療薬が承認されました。以前のように、「癌」イコール「死」というイメージは薄らぎ、大多数の患者さんは積極的に治療し、今までのように仕事を頑張り、趣味や旅行を楽しみながら前向きに人生を歩む事が可能となりました。

患者さんが「がん」と向き合うために一番必要としているものは「情報」です。

世の中には癌治療に関する情報が溢れています。中には正確ではないものもあり、大勢の人が惑わされることもあります。正しい知識を身に着け、常に情報をアップデートし続ける日常の積み重ねは、数年先、数十年先、もっと先の未来の医療に大きく関わるのだというプライドを与えてくれます。

コロナ禍の今、私たちは多くの制限を強いられ、辛い時間が流れております。しかし現状に負けないしなやかな強さを持ち、CRCとしての誇りを忘れず、今後も努力を重ねていく事をお約束いたします。



### 熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2021年 1月25日(月)  
19:00～20:00

会場／Web 講演会

※事前に申し込みいただければ少人数での直接参加もご案内できます。

※申し込み案内は熊本市医師会ニュースにてお知らせいたします。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

#### ①症例報告

「胆嚢管内に結石が嵌頓する慢性胆嚢炎に対して術中総胆管損傷を認め、腹腔鏡下に減圧管を留置し改善した1例」

外科 小川 大輔 医師

#### ②特別講義

高血圧治療の実臨床

Beyond the Guideline 2019 ～私の勝手気ままな降圧治療～

CC74：高血圧症

循環器内科 平井 信孝 医師

## 熊本地域医療センター勉強会 オンライン配信始めました

総務課 たのうえ こうじ  
田上 弘治



平素より患者様のご紹介や病院運営等で大変お世話になっております。

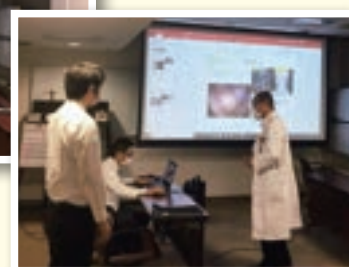
毎月第4月曜日に開催されておりました熊本地域医療センター勉強会は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年の2

月から中止とさせていただいておりました。新型コロナウイルス感染症対策として学会のオンライン開催やリモートワークなどが推奨されておりますので、昨年10月より Zoom を利用したオンラインでの開催といたしました。

何分初めての試みとなりましたので、少なからず問題点やご意見も頂きました。今後の改善点とさせていただきます。

現在、大都市圏を中心に新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大している現状を考えます

と、今後も当面オンラインでの開催となります。3密を避けるため、基本的にはオンラインでのご参加をお願いしておりますが、少人数であれば直接のご参加もお受けしております。当院総務課までお申し付けください。今後も熊本地域医療センター勉強会への御参集と患者様のご紹介を何卒よろしく願います。



## コロナ禍の臨床工学部

臨床工学技士 とりごえ さや  
鳥越 紗綾



2020年コロナ禍を契機として生活様式、働き方は大きく変化し、当院でも病院全体及び各部署での感染対策が講じられています。臨床工学部でも院内感染対策指針・マニュアルを遵守した上で、感染を

媒介しない、感染源にならないよう独自の感染対策マニュアルを作成し、自分たちがとるべき行動や対策について常に考えながら働いています。

ME 機器管理室では複数の医療機器を中央管理しています。医療機器を介した接触感染予防のために中央管理機器の清拭・消毒を徹底、また当方で作成し各部署へ配布している院内 ME 機器取扱説明書には、各機器の清拭と消毒の方法を掲載しています。

院内方針に従い出勤前の体温測定、環境清拭の実施、医療機器やパソコン等に触れる前後での手指衛生を行い、休憩は重ならないよう時間をずらしています。地下に位置する ME 室には窓がなく換気の悪い密閉空間となるため、コロナ禍以前は閉めていたドアを常に開放し、飲食以外の時間は常にマスクを着用することが基本となりました。

他の職種に比べると患者と接する機会は少ないものの、血液浄化業務、呼吸治療業務、心血管カテーテル業務、手術室業務などでは患者と比較的長い時間接触することもあり、勤務時行動履歴表へ記録も行っています。

臨床工学部における臨床工学技士は現在4名在籍（うち1名育休中）していますが、部署から感染者が発生した場合は全員が自宅待機となる可能性も考えられるため、独自の COVID-19 BCP（事業継続計画）を策定しました。血液浄化業務など、どうしても他職種だけでは実施できない業務はありますが、ME 室で管理している物品の配置表を作成し、通常は臨床工学技士で行っている人工呼吸器の呼吸回路の組み立てや用手蘇生バッグの管理など一時的に他の職種でも実施できるよう機種ごとに管理方法と手順を記載し、1つのファイルにまとめています。

新型コロナウイルスの全国の新規感染者が過去最多を更新し、第3波が到来したといわれています。今後どのような経過を辿り収束していくのかは分かりませんが、患者に安心して使用できる安全な医療機器を提供できるよう、今後も継続して取り組んでまいります。

## コロナ禍での受付

外来医事課 <sup>うえむら</sup> 上村 <sup>ふみ</sup> 富美

当初、中国での報道を対岸の火事のように思っ  
て見ておりましたが、ふと気付けば、いつの間にか自  
分の足元にも火が迫っているような状況となり、慌  
てふためきました。連日増加する感染者数、今まで  
の当たり前が、当たり前でなくなる生活環境の中で、  
受付においても対策が求められました。当然のこと  
ですが、一番に考えたのが、感染予防であります。  
本館正面玄関及び新館玄関は封鎖し、入館の出入り  
は本館玄関横側の狭いドアのみとし、入り口には手  
指消毒薬の設置、入館者全員の体温測定、受付の  
オープンカウンターにはビニールカーテンを施し飛  
沫感染対策。ボールペン・バインダー等の備品は使  
用毎にアルコール綿での拭き取り清掃、朝・昼・夕  
の身の回りの清掃、その他諸々できる限りの感染予  
防を日々行っております。

又、救急外来において発熱の患者さんは、車内待  
機を原則とし、病院到着後電話で連絡して頂き受付

スタッフが車まで赴き患者基本情報を聴取、保険証  
をお預かりし、確認後再び車まで行き返却しており  
ます。これからの繁忙期に向け発熱外来の設置計画  
も進んでおり益々、受付作業も変わって行くことと  
思いますが、いかなる場合におきましても、迅速か  
つ正確な受付業務を遂行できますよう心掛けてまい  
ります。

今後も感染状況により変化する日々の生活環境で  
はありますが、受付ス  
タッフ一同、  
笑顔と思  
いやりの心  
は変わらず  
持ち続け  
てまいり  
たいと思  
います。



## コロナ禍の地域医療連携室

地域医療連携室 <sup>たけはら</sup> 竹原 <sup>かなこ</sup> 佳奈子

多くの医療機関から検査予約のご紹介をいただき、  
ありがとうございます。コロナによる休診後は、検  
査数の激減で先行き不安な日々でした。しかし、現  
在におきましては、コロナ前までとはいきませんが、  
検査数も徐々に戻っております。密にならないよう、  
現場と調整し、これからも、通常及び緊急時に関わ  
らず、迅速な対応をさせていただきます。

休日夜間急患センターにおきましては、深夜帯の  
内科・外科の診療を、当面の間、休止という選択を  
取らざるを得ない状況となりました。内科につきま  
しては、出勤協力の医師不足という状況がさらに進  
み、継続できないという判断によるものです。調整  
担当者は、2カ月前の予定を日々緊張と隣り合わせ  
の中、調整させていただいております。ご協力いた  
だいております先生方には、感謝申し上げます。

転院調整につきましては、コロナ禍による厳しい

制限の中、転院側、受入側の条件が合致しないと調  
整が成立しません。当院のみならず、すべての医療  
機関の連携室のスタッフもご苦労されていることか  
と思います。

コロナと上手につき合うため、試行錯誤しながら  
業務改善を図りつつ、日々業務を遂行しております。  
今後とも、地域医療連携室をよろしくお願い申し  
上げます。



### 熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら  
☎096-363-3311 (代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら  
※ベテラン看護師が対応いたします!

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)  
☎096-366-1323

### 編集後記

Y 新年あけましておめでとうございます。年末はコロナの第3波が押し寄せ大変でした。当院では、年頭の辞にありますが通りウイスコロナを前提にしてCOVID-19対策を講じながら各部署とも地域医療に貢献してまいります。今年もよろしくお願いいたします。

K 新年あけましておめでとうございます。今年も皆さまと共に、感染対策・健康管理に十分気をつけてまいりたいと思います。コロナ終息を切に願います。

H 新年あけましておめでとうございます。先月で入社して2年が経ちました。他部署の方にも顔を覚えていただき、話しかけていただく機会が増えました。今年からは3年目。コロナに負けず、日々精進してまいります。今年もよろしくお願いいたします。